

## 家計簿におきかえてみると…

川崎市の一般会計を家庭の収支におきかえて眺めてみましょう。市の予算と家計では、お金の使いみちも異なり、単純に比較できない部分もありますが、限られたお金を活かし、バランスのとれた使いみちを考えるとという点では似ています。スケールを身近なサイズに変えて「川崎市の財政」を実感してみましょう。

### 例えば年収を 500 万円とすると…

#### 収入月額

月収	お父さんとお母さんの給料 市税等の自主財源	416,700 円
	役所からの助成金・奨学金 国・県支出金など	191,000 円
	各種ローンの借入金 市債発行	59,600 円
	<b>収入計</b>	<b>667,300 円</b>

#### 支出月額

「義務的経費」	食費 人件費	126,200 円
	医療費など 扶助費	177,200 円
	ローンの返済 公債費	57,500 円
	車の購入・自宅の増改築・修繕費 投資的経費など	85,800 円
	子どもへの仕送り・おこづかい 補助費等・貸付金・繰出金など	148,700 円
	光熱費・被服費 物件費	71,900 円
	<b>支出計</b>	<b>667,300 円</b>
	各種ローンの残高	8,409,700 円

#### 実質的な市債残高

食費や医療費など「義務的経費」の部分は支出の中で大きな割合を占めていることがわかります。

## 新型コロナウイルス感染症への対応

令和3年度の取組 約 403 億円

(令和3年6月補正まで)

- 川崎市では、感染症対策に取り組むとともに、経済危機からの回復に向けた市民・事業者支援を行ってきました。
- 令和3年度においても、引き続き市民の生命・生活・仕事を守る取組を進めます。

### 市民・事業者への支援 約 166 億円

- ・生活困窮者を対象とした住居確保給付金の給付
- ・「川崎じもと応援券」の発行
- ・中小企業を対象とした融資・資金繰り支援
- ・子育て世帯生活支援特別給付金 など
- ・「新しい生活様式」に対応した経営支援の実施

### 感染症対策 約 211 億円

- ・新型コロナウイルスワクチン接種の推進
- ・市立学校における感染症対策
- ・PCR検査の実施やコールセンターの運営等
- など

### 社会変容への着実な対応 約 26 億円

- ・「かわさき GIGA スクール構想」の推進
- ・行政手続きのオンライン化・市内デジタル化の推進 など



感染症対策を施して従事する医療関係者